目黒寄生虫館

◎28歳女性
◎ミュージシャン／スナックホステス
◎兵庫県出身

子供のころから呑んべえの母親に、スナックやホテルのバーに連れ回されていた。小学校4年生の時、阪神大震災をきっかけに東京に引っ越す。地味で内向的な子どもだったが、その半面、大好きだったシノラーの格好をして通学、関西弁も悪目立ちして、仲間はずれにされる。それを過干渉な母親が心配して中学受験まで学校に行かず、塾や家庭教師で勉強。そんな小学生時代の救いはラジオ！、特に西川貴教のオールナイトニッポンは、テープに録音して何度も聞いていた。

とにかく中学さえ行けば自由になる！と思い、無事に大学まで一貫の女子校に入学。西川さんのラジオの影響でギターに興味を持ち、フォークソングクラブに入部する。中学は部活一筋で、中3のときに初めてオリジナルバンド「the malicious cats（悪戯な子猫たち）」を結成。新しい音楽を掘ることも好きで、西川さんが好きだと言っていた古いバンド、たとえばＫＩＳＳなんかも聴いたりするようになった。

高校でも軽音部に入り、朝・昼・放課後と練習に励む。学生なら無料で借りられる児童館のスタジオにも通い、のちにそこで出会った男の子と初めて付き合うことになった。高2のころ、バンドメンバーが受験などを理由に全員脱退してしまい、そのまま大学に進むことを決めていた自分は、時間もあるし、なによりバンドを続けたくて、他校の男友達と「かたすかし」という、ドラムとギター2人組のハードコアバンドを結成する。彼氏の友達の影響で、そのころからスターリンやジャパコアも聴くようになっていた。

同じころ、何かで見た『東京ラブストーリー』をきっかけに、昔のトレンディドラマがすごく好きになって、時間もあったので『金妻』をはじめ、あらゆるドラマを見まくる。そこで自分は昭和歌謡とか、トレンディドラマの世界がすごく好きなんだと自覚するようになった。

大学でも音楽サークルに所属。ライブも増え、ライブハウスのノルマをこなすために、手っ取り早く稼げるバドガールとコンパニオンのバイトを始める。バイトで稼いだお金をすべてライブ活動につぎ込んでいたが、大学時代は遊びにいくのもライブハウスだし全然チャラチャラ遊んでない！　もっといろいろやっとけばよかった……といまになって後悔。

卒業後は、とある会社の事務職にするが、仕事は本当に向いてなくて、しんどい毎日だった。結局3年弱働いたあと、ついに我慢できなくなって退職し、歌謡曲を流すバーでアルバイトを始める。ちなみに「かたすかし」は就職直後に解散、その1年ほどあとに「例のK」というバンドに参加していた。

昔から知り合いの、いつもライブハウスで会う女の子がいた。おたがい顔が派手だし、バブルの時代のノリや文化が好きで気も合って、しかも同じ時期に会社を辞めた

ので、じゃあ孫に見せられるようなことを一緒にしよう！と、「ベッド・イン」というユニットを結成する。最初はどうしてもやりたくて、SHOW-YAのコピーの企画ライブをやったら、すごく盛り上がって、その勢いで写真集を作ることに。1年かけて衣装を準備し、ギラギラガールズやC.C.ガールズ、T-BACKSの写真集を買い集め、二人でポーズやデザインを研究。ロゴやキャッチコピーがてんこ盛りの、生々しい写真集にしたかった。

いつの間にかカラオケスナックで働くようになり、しばらくはイベント的にライブ出演していたが、ベッド・インの評判はどんどん上がって、ついにファーストシングルを作ることに。制作会社が日本で1カ所しかなくてかなり高かったけど、思い切って短冊形に。購入特典として限定100本のVHSも作ったが、これも高かったためダビングだけして、パッケージは自分たちで両面テープで貼った。

そこから2年弱、そのシングル2曲とカバー曲（『六本木心中』『限界LOVERS』等）だけで、地方遠征までこなしていた。そのころには「例のK」も解散し、ベッド・イン一本に打ち込むようになっていた。2015年にはセカンドシングルを発表。そして、ついにキングレコードよりメジャーデビューが決定した。いまはもうすぐ開催のワンマンライブの練習と、スナックでの水割りづくりに勤しむ日々である。

10年ほど前、大学のときに入っていた音楽サークルに、付き合ってはいないのに毎週デートしてる男の子がいた。彼と行った目黒の寄生虫館で、単純に可愛いなと思って買ったのがこのTシャツ。けっこうお気に入りで、大学のサークルでも、よく着てライブしていた。

それからずっと、なぜか捨てられないし、久し振りに見つけたらやっぱり着たくなって、このあいだライブの練習に着ていったら、古い友人に「それ本当に昔から着てるよね」と言われた。

ちなみに、その彼とはクリーンな関係だった。